

目標達成計画

作成日: 令和6 年 12月 22 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1(1)	新体制となり改めて理念を決定、職員さんへの理念の浸透はこれからである。	事業所の皆さんに理念が浸透しその理念に向けて様々な取り組みが行える。	理念「皆で感動、皆で笑い、地域に寄り添い、円となる。」に向けて地域の方のボランティアや近隣の方への行事への参加の呼びかけなどの取り組みを現在行っている。他、リビングへの掲示と会議を通して浸透するように行動している。	6ヶ月
2	2(2)	コロナ過で地域とのかかわりが薄くなっていたが、地域のサロンと連携して内覧会やふれあいカフェを企画している。	地域と関わり入居者の方の生活を豊かにする。	自治会に入り、地域の掃除や行事に積極的に参加していく、その中で事業所での行事にも参加していただけるよう呼びかける。	12ヶ月
3	6(5)	人員が少ない時は自由な出入りが難しい状態にある。	外気浴など外に出る機会が増える。	毎日、午前中に外気浴や散歩をしていただく時間を設けており、外出レクも実施している。今後、一緒に買い物をしたり、外食の機会も作っていく。	6ヶ月
4	35(13)	災害対策に関して、地域との連携が十分でない。	災害時に近隣の方にも協力していただける体制ができる。	自治会を通して事業の事を知ってもらい、避難訓練にも参加していただいているように協力を求めていく。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。